

# BELL SUSTAINABILITY REPORT 2023

サステナビリティレポート2023



# 目次

---

## ベルのサステナビリティ

サステナビリティ戦略 .....	3
------------------	---

## 環 境

環境課題に関する方針・考え方.....	4
気候変動.....	4
水資源 .....	5

## 社 会 性

社会性に関する方針・考え方.....	6
従業員の健康と安全 .....	6
労働者の権利の尊重 .....	7
人材育成 .....	7
品 質 .....	8
ダイバーシティ&インクルージョン .....	8
人 権.....	9

## ガバナンス

ガバナンスに関する方針・考え方 .....	10
コーポレートガバナンス体制 .....	10
取締役スキル・マトリックス .....	12
リスクマネジメント .....	12
コンプライアンス.....	13



# ベルのサステナビリティ

## サステナビリティ戦略

私たちベル・エンジニアリングの企業理念は、

バーチャル技術を駆使してリアル社会の発展と環境保護に貢献する

環境と経済が両立する持続可能な社会(=SDGsの達成)の為に将来現実になるであろう形や機能を前もって仮想空間上で創り上げ、思考を繰り返すことにより物理的エネルギーを削減することを目的とした組織体になることを目指しています。

中期事業計画～FY2030ありたい姿に向けてマテリアリティを設定いたします。

### ● マテリアリティの設定

<p>E (Environment) 環境対応</p>	<p>生産プロセスの環境負荷低減：フロントローディング推進</p>    
<p>S (Social) 社会責任</p>	<p>エンゲージメントの向上：労働生産性の向上、健康経営の推進 ウェルビーイングの向上：人材の定着する環境作り ダイバーシティの推進：人権の尊重、人材の育成・確保</p>       
<p>G (Governance) 企業統治</p>	<p>コーポレートガバナンスコードの主旨を踏まえた体制の強化</p>   

# Environment

## 環境

生産プロセスの環境負荷低減:フロントローディング推進

### 環境課題に関する方針・考え方

- ✔ 持続可能な設計  
環境への負荷を最小限に抑える、設備の設計プロセスにおいて、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用、廃棄物の削減などの取組みを行います。
- ✔ エネルギー効率の向上  
エネルギー効率を向上させるための施策を検討し、省エネルギーな照明や機器の導入、エネルギー管理システムの導入などを検討します。
- ✔ 再利用とリサイクルの促進  
使用済み材料や廃棄物の適切な管理と処理を通じて、リサイクルや再利用を促進することが重要。環境に優しい素材やリサイクル可能な材料を選びます。

## ▶ 気候変動

2015年、COP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)では、気温上昇を2℃よりも「十分に低く」抑えることを掲げたパリ協定を採択しました。

2021年のCOP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)では、「気温上昇を1.5℃に制限するための努力を継続することを決意」、「世界全体の二酸化炭素排出量を今世紀半ば頃には実質ゼロにすること」が追記されました。

また、パリ協定と同じく2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」でも、気候変動への具体的な対策が求められています。

気候変動による異常気象の脅威は一段と高まっています。

不確実性が拡大する中でさらにレジリエントな戦略の強化が必要と考えています。

強化に向けて実施したシナリオ分析は、2050年までのタイムホライズンにおける国際エネルギー機関(IEA)が提示した4℃と2℃シナリオ、およびIPCCの1.5℃特別報告書に基づいた社会を想定しています。

考えられるリスクは、脱炭素社会へのさらなる政策や法規制、異常気象災害の増加や海面の上昇といった物理的リスクなどがあります。

## ▶ 水資源

世界的な人口増加や経済発展により、水の需要が増えることが予想されています。  
また異常気象によって雨の降り方が変化しており、安定した水の供給に対する社会の関心は年々高まっています。  
2030年には水の供給が需要に対して40%不足するといわれており、世界経済フォーラムが毎年発行する「グローバルリスク報告書」では、「異常気象」、「天然資源の危機」「人為的な環境被害や災害」など水に関連するリスクが上位に入っています。  
例えば、「天然資源の危機」には水資源の枯渇など、水に関する重大なリスクが含まれています。

また、2018年に気候変動に関する政府間パネル(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change)により公表された「1.5°C特別報告書」でも気温が1.5°C上昇すれば大雨、干ばつといった異常気象のリスクや影響は高まり、2.0°C上昇すればリスクや影響はさらに深刻で広範囲になると報告されています。  
水不足や洪水などさまざまな側面において水資源の管理は持続可能な発展のために重要な課題となっています。

# Social

## 社会性

エンゲージメントの向上:労働生産性の向上、健康経営の推進

ウェルビーイングの向上:人材の定着する環境作り

ダイバーシティの推進:人権の尊重、人材の育成・確保

### 社会性に関する方針・考え方

ベル・エンジニアリングは社会の一員として、社会が持つ課題の解決に向け、積極的に取り組みます。  
ベル・エンジニアリングの事業活動はさまざまなステークホルダーに支えられており、あらゆるステークホルダーの権利を尊重します。  
社会的責任を常に意識しながら事業活動を推進し、持続可能な社会の発展に貢献して参ります。

### ▶ 従業員の健康と安全

ベル・エンジニアリングは、人材こそ財産と考え、その財産の健康と安全を守ることこそが会社の成長に繋がり、社会に貢献することだと考えます。

#### § 健康

毎年の定期健康診断の結果を受け、保健師の面談・指導の機会を設け、個人の健康意識向上を促しています。

また、衛生管理者を筆頭にした衛生委員会を毎月開催しております。

衛生委員会では各セクションの担当者が出席し、産業医の出席、助言を受けて全従業員の健康意識の向上と、正しい情報の収集・伝達に努めています。

幸いなことに数年来のコロナ流行時においても、従業員、その家族も含め一人の重篤者も出ることなく、業務への影響も最小限に抑えることが出来ました。

また、毎年社員との面談を実施し、家族を含めた健康状況をヒヤリングして各従業員の事情をくみ取り、無理のない就業の理解と配慮にも努めています。

#### § 安全

管轄消防署の指導の下、避難訓練を定期的 to 実施しています。

避難訓練に際しては、各セクション・各従業員の役割を明確にし、シミュレーションをして非常時に備えています。

2011年の東日本大震災を教訓に、連絡網などマニュアルを明確に整備して、非常時の業務に与える影響を最小限にするべく全従業員に周知しています。

## ▶ 労働者の権利の尊重

ベル・エンジニアリングは、人権を尊重した事業活動は会社の発展・存続に不可欠であり、果たさなければならない責任であると考えます。

### § 多様性の尊重と機会平等

従業員や取引先、お客さま、地域社会の多様性を評価・尊重し、差別やいやがらせは、どんな形・程度にせよ容認しません。役員および従業員が相互の人権を尊重し、人種、国籍、性別、宗教、障がい、年齢、出身、性自認、性的指向、その他の理由による差別やいやがらせを行うことや、その状態を容認することを認めません。

### § 家庭と仕事の両立支援

育児や介護と仕事との両立を支援するため、育児・介護休職や短時間勤務制度をはじめ、家族の看護休暇・介護休暇といった各種休暇制度を整備することで従業員の不安を可能な限り排除し、安心して業務に集中できる環境づくりを目指しています。事実、出産・育児休暇を経て職場復帰を遂げ、休暇取得以前と同様に活躍している従業員は多数おり、全従業員がそれを理解し、協力しています。今後は父親の育児休暇取得など、社会情勢に柔軟に対応し、より働きやすい職場作りに努めます。

## ▶ 人材育成

ベル・エンジニアリングは、人材こそ財産と考え、キャリア支援・各種セミナー・研修・資格取得支援(報奨金制度)を整備し全ての従業員にキャリアアップのチャンスを与えて応援します。

### § 研修、教育

段階的(新入社員から幹部社員のキャリア別)に研修を定期的に行っております。加えて外部セミナー、研修等に積極的に参加させ、全従業員のレベルアップを図ることで、社会に貢献します。また、各種資格取得に対する報奨金制度も整備、周知されており、従業員のモチベーション向上の一端を担っています。

### § 透明で公平な評価制度

中長期的な視点で「人」と「組織」の成長を実現するために、透明性、公平性をもった評価制度に改定しました。また、2012年度より社員持ち株会を組織し、社員が業績に応じて報酬を受け取ることが出来ることで、経営への関心を促し、エンゲージメントの向上に繋げ、将来を担う人材を育てています。

## § 適正配置、環境づくり

年に一度個人面談を行い、家族を含めた事情や、上司や仲間には言いづらいことなどを聞き取り、適正な配置転換や環境づくりに役立て、魅力のある会社、社会的な信頼を得られる会社を目指しています。  
そして有能な人材に選んでもらえる組織になり、さらに成長し、より社会に貢献できる会社になりたいと考えています。

## ▶ 品質

ベル・エンジニアリングは、「バーチャル技術を駆使してリアル社会の発展と環境保護に貢献します」を基本理念としており、日々変化する社会情勢、進歩する技術や情報に常にアンテナを張り、習得し提案することで社会に貢献することを目指しています。

### ・新入社員教育

新入社員には、カリキュラムに則した研修期間を設け、初歩からの丁寧な指導で、その後のキャリア形成の礎を築きます。

### ・初級者教育

入社年数の浅い従業員には、社内中堅社員を講師とした勉強会を定期的に行い、レベルアップを図ります。

### ・中級者教育

今後の会社を担う中堅従業員には、ベテラン従業員の経験と知恵を継承するべく定期的な勉強会を開催しています。

### ・社外講習

「空調衛生工学会」の有料講習の受講を奨励、補助してさらなるレベルアップに繋がっています。

### ・展示会等への参加

各種展示会等への参加を通じ、新製品、新技術、新情報を収集して社内展開しています。

## ▶ ダイバーシティ&インクルージョン

ベル・エンジニアリングは、誰もが生き生きと働くことができる環境を整備し、役員・管理職・一般従業員・協力会社も含め、関係者全員が「多様性」を理解、協調する事で組織としての力を最大限に発揮し、社会に貢献できる組織になるべく、ダイバーシティ&インクルージョンに取り組みます。

### § 人権尊重と機会均等

全ての従業員が互いの人権を尊重し、人種、国籍、性別、宗教、障がい、年齢、出身、性自認、性的指向、その他の理由によるいかなる差別や嫌がらせを許しません。また、その状況を見逃しません。

ベル・エンジニアリングはすべての従業員に対し、いかなる偏見も差別も行わず、すべての従業員に等しく機会をあたえ、正しく平等な評価をします。

そのために評価マニュアルを策定し、全社員に公開して透明性を示すことで、従業員の不安・不満を取り除いています。

### § 女性活躍への取り組み

誰もが活躍できる環境づくりを目指し、育児、介護、治療などと仕事を両立する従業員を包括的に支援できる仕組みを整えていきます。経営層においては、2023年7月に初の女性取締役が就任します。今後も女性管理職を積極的に登用していきます。

### § LGBTへの取り組み

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー(性的少数者)を正しく理解するための啓発活動を推進します。

### § 障がい者や高齢者への取り組み

障がいをお持ちの方、ご高齢な方も活躍しています。

その方々の長所を生かすことが出来る環境を整えていきます。

## ▶ 人 権

ベル・エンジニアリングは人を大切にし、人権を尊重することを経営の基本とします。

### § 人権尊重、法令順守、倫理的行動

国・地域で適用される法令や基準、企業の規則を遵守することが事業活動を行う上での基本であり、最高の倫理基準に基づいた行動を全従業員に周知します。

人種、国籍、性別、宗教、障がい、年齢、出身、性自認、性的指向、その他 の理由に基づくいかなる差別もしません。

現在、ベル・エンジニアリングには外国籍の従業員も在籍しております。文化・言語・宗教の垣根を超えて機能しており、今後もグローバルな目線での採用をめざします。

### § 人権に対する教育、(社内通報制度)

「人権」「法令順守」「倫理的行動」「差別の根絶」のために、社外セミナーの受講を役員以下全従業員に義務付け、意識の向上に努めています。

また、人権問題に関する申立てなど、さまざまな事項を収集、是正に向けた苦情処理制度を構築しています。社内通報制度は、法律で定められる範囲において匿名性が保たれ、申立て事項の調査、処理、対応に真摯に取り組んでおり、申立てを行う従業員は、決して報復を受けることのないように保護されています。

# Governance

ガバナンス コーポレートガバナンスコードの主旨を踏まえた体制の強化

## ガバナンスに関する方針・考え方

2023年度、新型コロナウイルス感染症は収束に向かいコロナ禍以前の生活にもどりつつありますが、ウクライナ情勢や米中摩擦などの地政学リスク、それに起因する資源価格の高騰などは、引き続き世界のあらゆる業界に大きな影響を与えています。企業としては、さらに複雑化する世界情勢の中、きめ細かい管理が求められる事になります。

ベルとしましては、建築設備の独自の高い技術力で、建築の分野から人々の生活を豊かにする事を目標に、すべてのステークホルダーに信頼される価値ある企業を目指し、コーポレートガバナンスの向上を最重要課題として取り組んでいます。社会からの要請や社会的責任を常に意識しながら事業活動を展開し、事業の持続的な成長とともに持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

また、持続可能な企業であるためには、高い倫理観と透明性、また強固な基盤を備えた体制が不可欠になり、その取り組みを主体的に情報開示することが求められています。すべてのステークホルダーから信頼され続ける企業であるためには、すべての従業員が高い倫理観を持ってコンプライアンス(法令遵守)を実践しなければなりません。ベルではコンプライアンスが全ての行動の基準ととらえ、企業理念の中に「行動原則」として定めて徹底しています。

## ▶ コーポレートガバナンス体制

企業は、ステークホルダー(株主をはじめ顧客・社員・地域社会等)に対して明確な経営目標や経営方針を公表して公正かつ迅速・果敢に活動し速やかに高い透明性を持って達成状況や実績を開示します。また、経営の透明性を維持する企業統治の体制を構築するとともに、事業目標の達成を阻害する要因であるリスクを適切に評価し管理します。ベルでは、役割の異なる複数の会議を実施することにより、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行って活動しています。



## 取締役スキル・マトリックス

氏名	役職	知識・経験・専門性									
		BIM	図面技術	CAD	点群撮影	モデリング	工事	マーケティング	財務・会計	法務	ESG
後藤 哲志	CEO	○	○	○				○			○
二階堂 俊也	CSO				○	○	○	○			○
稲葉 裕子	CFO							○	○	○	○
重盛 次正	監査役							○	○	○	

※ CEO…Chief Executive Officer、 CSO…Chief Sustainability Officer、 CFO…Chief Financial Officer

## リスクマネジメント

ベルでは、リスクをいち早く察知し、影響度の大きさや発生の可能性を評価して、必要な対策を検討・実行することにより、リスクが発生する確率や頻度の低減、万一発生した場合の損失の最小化に務めるよう情報セキュリティを強化したりBCP計画を作成しています。近年、新たな技術の普及や地政学的リスクの拡大など、企業を取り巻く環境は変化の度合いを増しています。災害以外でも、そうした変化にも適切に対応していけるように、これからも取り組みを強化していきます。

### § 情報セキュリティについて

ベルでは、業務遂行上、データでの受渡しで作業・保管する事が大半であるため、情報セキュリティ全般に対する取り組みは、経営上の重要な課題です。ソフト的な対策はもちろん、社員への社内教育を継続的に実施し、周知・定着を図っています。

また、社内の管理体制およびルール、手続きをさらに整備し、取引先の信頼を築き、維持する事の重要性を認識しています。取扱うすべての機密情報について、漏洩などの事故を防止する為、下記の取り組みを行っています。

- すべてのPCにセキュリティソフトをインストール・更新
- すべてのサーバにパスワード設定
- 社員への定期的なセキュリティ教育の実施
- セキュリティ対策自己宣言



セキュリティ対策自己宣言

独立行政法人情報  
処理推進機構による  
SECURITY ACTION  
を宣言しました。

ベル・エンジニアリングは情報セキュリティ対策として以下のことに取り組むことを宣言いたします。

#### ◆情報セキュリティ5か条

1. OSやソフトウェアは常に最新の状態に
2. ウィルス対策ソフトを導入
3. パスワードを強化
4. 共有設定を見直す
5. 脅威や攻撃の手口を知る

## § 災害・パンデミックなどに対するBCP計画

ベルでは、災害時や感染症蔓延時の対応を対策マニュアルとして作成し、リスクを最小限にとどめるよう備えています。このマニュアルは毎年更新し、常に最新の対策をとってまいります。

●ベル【災害】対策マニュアル2022

●ベル【感染症】対策マニュアル2022

## ▶ コンプライアンス

ベルにおいては、すべての社員が高い倫理基準に従って誠実に行動することが大切であり、社員は最も高い倫理観を持って行動することが求められています。それは単に正しい行為だからという理由だけではなく、そうすることで全社員が最高のレベルで業務を実施することが可能になるからです。

ベルではコンプライアンスが全ての行動の基準ととらえ、企業理念の中に「行動原則」として定めています。

すべての社員が高い倫理観を持って業務を遂行することがサステナビリティ推進の基盤です。

社員一人ひとりがコンプライアンスを確実に理解し、企業活動が正しく行われるように、厚生労働省推進の「事業内職業能力開発計画」を作成し、社員の意識統一をはかっています。

取締役や執行役員に対しても定期的にセミナーや啓発活動を実施することなどにより、その遵守を徹底しています。

### ●ベル・エンジニアリング 企業理念（抜粋）

